



地域を育み、大団をつなぐ

2010-2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス

Tsuruoka Rotary Club

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成 23 年 1 月 11 日 (火) 第 2526 回 (本年度第23回) 例会

1959年6月9日創立 ● 例会場：東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10 ● 例会日：毎週火曜日 (12:30~13:30)

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

E-mail: tsuruoka08@rid2800.jp

本日(1/18)のメインプログラム

年男年女会員スピーチ

加藤 亨君・嶺岸禮三君

次週(1/25)のメインプログラム

寒鰯汁家族例会

親睦委員会担当

会長挨拶

佐藤 孝子

次週は姉妹クラブの皆様と恒例の寒鰯汁例会です。

新年あけましておめでとうございます。いよいよ平成23年がスタート致しました。お正月は如何お過ごしでしたか？ 我が家は子供達、孫達総勢13名での年越しで、5歳から1歳までの孫5人は賑やかと言うよりは…でも大変楽しい新年を迎えることが出来ました。

こんなに穏やかな新年は久しぶりと思うほどの最高のお天気に恵まれました。新しい年もこの元旦のお天気のような1年となりますことを願っています。

ロータリー年度も半分が終わり、これから下半期を残すばかりとなりました。1月25日は姉妹クラブの皆様とご一緒に恒例の寒鰯汁例会です。大勢の皆さんに参加して頂きたいと思います。2月8日の例会は榎本市長の卓話が予定されています。会員の皆さん、楽しみにしててください。下半期まだまだ楽しい企画が沢山ございますので、皆さんと一緒にロータリーを楽しみたいと思っています。ご協力宜しくお願い致します。

今日は新年最初の理事会が開催されました。退会届が提出されていた高橋良士先生と12月22日お会いしてきました。お体の具合が原因ですので退会は受理致しました。先生の長年のロータリーに対するお気持ちを考えますと非常に残念です。先生より“永年に及ぶロータリー皆様方の友情に感謝申し上げ、鶴岡クラブの益々の隆盛をお祈り致します。”とお言葉をお預かりして参りました。地区大会の記念誌を楽しみにされていると思います。

昨年末のクリスマス家族例会では62名の皆さんと楽しい時を過ごすことが出来感謝しています。収支報

告も理事会で報告させて頂きました。

ニューブランズウィック RC に新年のご挨拶を兼ねメッセージを送りました。お返事を待ちたいと思っています。

塚原ガバナーが昨年からのお疲れが出て、今日新年第1回目の例会お休みのご連絡を頂き、皆さんに宜しくとの伝言を頂きました。早くお元氣になられ、例会でお会い出来るのを楽しみにしています。

今日と次回の例会は年男、年女の皆さんからスピーチをお願い致しました。斎藤昭さん、樋渡美智子さん、嶺岸禮三さん、加藤亨さん宜しくお願い致します。

今日は例会終了後、新年のお茶会が予定されていますので大勢の皆さんご参加下さい。又次週(18日)の例会終了後は台中訪問の打ち合わせ会を致します。

新しい年が皆様にとって素晴らしい年となりますように…今年も宜しくお願い致しまして新年最初の会長挨拶と致します。

幹事報告 青柳 孝治

○ガバナー事務所

- ・1月のロータリーレート 84円/1ドル
- ・第2回R財団セミナー開催のご案内

日時：1月29日(土)

場所：東京第一ホテル 登録料：1,000円

○ガバナーエレクト事務所

2011-12年度 地区大会日程変更ご承認のお願い

変更前：平成24年4月20日～21日



変更後：平成24年3月31日～4月1日

出席報告

会員数	38名
出席	24名
出席率	63.16%
前々回確定出席率	84.21%

RI会長 レイ・クリンギンスミス

地区ガバナー 塚原初男

会長/佐藤孝子

幹事/青柳孝治

会長エレクト/青柳孝治

副会長/阿部純次

会報委員会/樋渡美智子・嶺岸禮三

事務局：鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

ウサギの今、昔

斎藤 昭君

ウサギ

童話や童謡の世界に出てくるウサギは善良で、大人しくかわいらしい。子供の遊び相手としては危なげない生物である。現在は、日本全国でペットウサギは約30万近くいると言われている。飼い主は、20～30代の若い女性で、その理由は鳴かない、抱き心地が良い、大人しく、フンが粒状で臭わない、部屋にこもらないとしている。

その反面ウサギの社会生活は群れの掟が厳しく、よそ目に見えるほど優しい動物ではない。放し飼いにすると群れで生活するようになり、オスの間には優劣の順位を決めるため、噛みついたり、後足で蹴ったりの闘争で生死をかける。

飼いウサギと野ウサギの違い

我が国では12世紀になって家畜化された。野生のアナウサギと飼いウサギが記録の上で明らかに区別され、農家などに飼われるようになり、その結果各種の形質について選別淘汰が行われた結果、体重はアナウサギの4倍になる系統や、毛色も白、黒、まだら、青、茶などの変わった品種が作り出された。

ウサギの耳は何故長いのか

私達が、よくウサギの耳と呼んでいるのは、正確には外耳の中の「耳介」という部分で、獣の仲間だけに発達している器官である。そしてこのウサギの耳が、如何に長いかをご理解いただくために、尾を除いた体長に対する耳の長さの比率を求めてみると、ナキウサギの類で10～12%、アスミノクロウサギのようなムカシウサギ類で10～14%だが、野ウサギやアナウサギになると12～15%にも達する。しかしこうしたウサギの耳は単に長いばかりではなく、表面積にすると20～25%を占めている。付け根から先端部分に向けて、開くような筒状の形になっている。単位体積あたり、胴体の部分の約8倍にもなっている。更にウサギの耳は体のほかの部分より、毛が少なくなっているばかりか、筋肉や脂肪などのカロリー源と保温組織もほんの申し訳程度しか付いていない。にもかかわらず、毛細血管と神経が密に分布している。ではこのような特徴のある耳は一体どんな役割を果たしているのだろう。

まず挙げられるのが集音装置としての機能だ。いうまでもなくウサギの耳の形は音を集めて聞くのが効果的な構造になっているが、より長く発達した耳はそれだけ聴力アップにも有利と思われる。

我が国の導入（輸入）

最初に入ったのは天文年間（1533～1555）で、一般に知られるようになったのは明治維新以降というのが定説になっている。しかし江戸時代にウサギ肉の市場が開かれたという記録があることから、既にその頃ウサギが飼育されたと主張する学者もいる。畜産関係



の資料には、明治2年（1869年）に中国より種類不詳の南京ウサギが輸入されたのが飼いウサギの導入で、その後アンゴラ種、6年（1873年）にニュージーランドからホワイト種が愛玩用として輸入されている。その後軍事上から毛皮の重要性を強く感じた政府は、軍需兎毛を奨励、昭和15年（1940年）前後には飼育数600万羽を超えるようになったが、戦後必要がなくなり、すっかり影をひそめ、大学の研究室の実験用として50万以下になったと言われている。

ウサギは何故「羽」というか

仏教にことよせて獣肉食を禁じた時代でも、イノシシを山鯨と称して食べ、ウサギを「ウ・サギ」鳥の仲間として一羽と数え、公然と賞味した事実がある。

ウサギと人

ウサギの肉や毛皮、（肉は比較的栄養価が高いが、味が淡白で鶏肉によく似ている。色は桜色で粘りがあり、豚肉にそっくりで、ハムソーセージのつなぎ用にも使われていた。）高級感のあるレックスやチンチラといった品種は、他の名を借り、リンクス（山樺）レックス、とかシルバーフォックス（銀狐）などの呼称で販売されていた。

委員会報告

★出席委員会

○メイクアップされた方

阿部 純次	富樫 松夫	青柳 孝治	佐藤 友行
早寄 弘	藤川 享胤	吉野 隆一	佐々木 喆彦
丸山 隆志	石田 雄	佐藤 孝子	樋渡美智子
真島 吉也	塚原 初男	越智 茂昭	本間喜美子
小林 健郎	富田喜美子		

スマイル

佐藤孝子君 新年明けましておめでとうございます。
今年も宜しくお願い致します。

阿蘇司朗君 恒例の空手道寒稽古が9日に湯野浜海岸
で無事修了しました。大雪のふさわしい日でした。

樋渡美智子君 旅館の無料宿泊券が当り、素晴らしい
酒井賀世さんの結婚式に出席し、市の成人式に招待
されといいことが続きましたのでスマイルします。



新春呈茶会

